

<<報道資料>>

Infinera Corporation
住友電気工業株式会社

Infineraと住友電気、ICE-Xコヒーレントトランシーバを用いた 10G-EPONインフラによる高速ビジネスサービスを世界で初めて実証

東京、2023年9月26日: Infinera(本社: 米国カリフォルニア州サンノゼ、NASDAQ: INFN)と住友電気工業株式会社(本社: 大阪府中央区、社長: 井上治、以下: 住友電気)は、[Infinera の ICE-X](#) コヒーレントトランシーバを用いて、住友電気のパッシブ光ネットワーク(PON)インフラ上で高速ビジネスサービスを提供する初の実証実験に成功したと発表しました。この実証実験では、住友電気が次世代コヒーレントトランシーバを活用することで、ネットワーク効率の向上と容量の拡張を実現し、新たな高速ビジネスサービスを実現するとともに、5G やエッジコンピューティングなどの次世代アプリケーションをサポートできることが実証されました。

この実証実験では、業界初のポイント・ツー・マルチポイント・コヒーレントトランシーバ技術のマルチソース合意ワーキンググループである [Open XR Forum](#) が定めた仕様に準拠した Infinera のコヒーレントトランシーバ製品群を活用しています。Open XR Forum のメンバーである住友電気は、同社の大阪製作所の施設において、10G-EPON システム FSU 7100 シリーズと、住友電気のメトロ/アクセス・アグリゲーション・スイッチ FTU 9100 にホストされた Infinera の ICE-X 100G および 400G コヒーレントトランシーバを使用して実証実験を実施しました。

住友電気 情報ネットワーク研究開発センター センター長の河本 一貴氏は、次のように述べています。「住友電気は、アクセスネットワークソリューションのプロバイダーとして、最新技術を駆使した先進的な通信製品の研究開発に取り組んでいます。今回の試験で、ICE-X コヒーレントトランシーバを使用した新しいアグリゲーションスイッチ FTU 9100 により、10G-EPON システム をご利用のお客様が、既存のインフラを利用して高速なビジネスサービスを提供できることを検証することができました。Infinera の ICE-X コヒーレントトランシーバのような先進的な技術を使った新しい製品で通信事業者様の新しいサービスに貢献してまいります。」

Infinera の光モジュールおよびコヒーレント・ソリューション・グループ担当ゼネラル・マネージャーのトム・バーンズ(Tom Burns)は、次のように述べています。「当社は、パートナーである住友電気と協業することで、両社のソリューションの組み合わせがエンド顧客にどのような価値を提供できるのかを実証できたことを喜ばしく思います。ICE-X の独特な機能は、統合されたシステムレベルの機能と相まって、様々なホストへのシームレスな統合を容易にするのと同時に、ネットワーク容量を拡大し、新たな収益を生み出すサービスを可能にします。」

Infinera と住友電気は、本年 10 月 2 日から 4 日迄、スコットランドのグラスゴーで開催される [ECOC 2023](#)、本年 10 月 16 日から 19 日迄、コロラド州デンバーで開催される SCTE Cable-Tec [Expo '23](#) など、今後開催される業界会議でこの実証実験をライブで披露する予定です。

- 住友電工について

住友電気工業株式会社は、光ファイバー、ケーブル、部品から電子機器、自動車部品に至るまで、幅広い製品を生産しています。効果的な研究と多角化により、同社は情報通信技術分野で世界有数の企業に成長しています。世界 40 カ国以上で事業を展開し、28 万人の従業員を擁しています。2022 年 3 月期のグループ売上高は約 300 億ドルです。詳細はウェブサイト(<https://sumitomoelectric.com/>)をご覧ください。

- Infinera について

Infinera は、通信事業者、クラウド事業者、政府機関、企業のネットワーク帯域幅の拡張、サービス革新の加速、ネットワーク運用の自動化を可能にする革新的な**オープン光**ネットワークソリューションと先進的な光半導体のグローバルサプライヤーです。Infinera のソリューションは、長距離、海底、データセンター相互接続、メロ・トランスポートの各アプリケーションにおいて、業界をリードする経済性と性能を提供します。Infinera について詳しくは、www.infinera.com、[X](#) と [LinkedIn](#) でフォローし、[最新情報を購読してください](#)。

・Infinera および Infinera のロゴは Infinera Corporation の商標または登録商標です。

・LinkedIn は、米国およびその他の国における LinkedIn Corporation とその関連会社の商標または登録商標です。

本プレスリリースには、Infinera の ICE-X 技術が技術的、財務的、運用的にもたらす潜在的なメリットや、既存の PON インフラ上に展開するためにサードパーティのホストルーターとシームレスに統合できる Infinera の ICE-X プラグケーブルの能力など、将来の見通しに関する記述が含まれていますが、これらに限定されるものではありません。これらの記述は結果を保証するものではなく、将来の活動や将来の業績を示唆するものとみなされるべきではありません。実際の結果は、様々なリスクや不確実性の結果、これらの期待とは大きく異なる可能性があります。これらのリスクと不確実性、および Infinera の事業に影響を及ぼすその他のリスクと不確実性に関する情報は、2023 年 8 月 9 日に SEC に提出された、2023 年 7 月 1 日終了会計年度の四半期報告書フォーム 10-Q のリスク要因のセクションおよびその他のセクション、ならびに SEC に提出または提出されたその後の報告書に記載されています。これらの報告書は、Infinera のウェブサイト(www.infinera.com)および SEC のウェブサイト(www.sec.gov)でご覧いただけます。将来の見通しに関する記述には、当社の期待、信念、意図、または戦略に関する記述が含まれ、「予想する」、「信じる」、「可能性がある」、「推定する」、「期待する」、「意図する」、「可能性がある」、「はずである」、「する予定である」、「だろう」、または同様の言葉によって識別できます。Infinera は、このような将来予想に関する記述を更新する義務を負わず、また現在のところ更新する予定もありません。

■ お問い合わせ先

Infinera

<<報道関係>>:

アンナ・ヴュー

Tel. +1 (916) 595-8157

avue@infinera.com

<<株主・投資家関係>>:

アマターブ・パッシー 投資家情報担当

Tel. +1 (669) 295-1489

apassi@infinera.com

Zonic Group Japan

担当: 川合

Tel: 080-4320-6029

ykawai@zonicgroup.com

住友電工

お問い合わせ総合受付

<https://sumitomoelectric.com/jp/contact-us>

以上